

☆津山商業高校の素敵な素敵なお兄さん・お姉さんたちへ

「ドローンの授業を教えてくださいありがとうございました。操作の仕方やプログラミングなど楽しかったです。お兄さんやお姉さんのおかげでドローンやプログラミングなどの面白さが分かり興味がわきました。ありがとうございました。」

未来の津商生かもしれない津山東小学校の児童からの「プログラミング教室」実施に対するたくさんお礼の手紙の一つです。

この他にも、2学期は大切な行事がありました。そこで分かったことを話そうと思います。

一つめは自彊祭

振り返ってみると8月24日の2学期始業式に「自彊祭頑張りましょう」と伝えました。翌日8月25日には緊急事態宣言の発出を受けて「自分と大切な人の命を守る」ことに集中して欲しい。津山商業が苦しんでいる人たちを思いやることのできる学校であり続けることを願っています。以上のことから学校行事も実施が難しい状況になっていることを理解した上でHRをよろしく願います。」と話し、各クラスで話し合いが行われ、その結果延期と決まりました。生徒会の皆さんも悩んだと思います。難しい判断でした。もし実施できなかつたとしてもそれは受け入れざるを得なかつたとも思います。これからも予測が難しい状態で、いろいろと選択しなければならない場面があると思います。人生は選択の連続だとも言えます。選択したものを最高にしていくしかないのだとも思います。みなさんの自彊祭は、記憶に残る最高の自彊祭になったのでしょうか？

二つめは百周年記念式典

実はコロナの影響で、9月30日まで文化センターは閉館していました。式典ができるかどうか不安でしたが、何とか実施できて良かったと思います。当日は、天気予報を覆し、快晴。私たちの願いが天に通じた形になりました。

県知事様、教育長様をはじめ、多くの方が来賓として出席してくださいました。ありがたい話です。県知事様からは「来て良かった」教育長様からは「素晴らしい生徒ですね」とのお言葉をいただき大変うれしく思いました。

礼儀、マナー、あいさつ、態度について、多くの来賓の皆様が、みなさんのことをほめてくださいました。これもうれしかったです。

式典で、私たちは多くのことを学びました。津山商業の歴史や文化、先人の方々の商業高校創設・発展に対する熱い思い、現在、津山商業を応援してくださっている人たちの存在と多大なる支援。津山商業を核として多くの方々がつながった瞬間でもありました。式典の存在意義もそこにあるのかも知れません。出席して下さった方がおられたからこそ式典ができました。

そして、私たちは多くの人のお話を聞いたり、世代が異なる人と接したりすることによって、確実に成長できました。式典は人を成長させるものです。できて本当に良かった。

三つ目は津商モールです。

2年前、商店街で実施した大盛況の津商モールを知っているみんなは、対面販売を実施したいと思ったはずだと思います。私もそうです。しかし、周りの人たちのことや感染症の状況を考えて、ネット販売を選択した。やはり、それも正解だったと思います。

あの時のにぎわいや売り上げは、残念ながら得ることはできませんでした。しかし、動画作成や企業訪問などで、たくさんの学びを得ることができました。これが、私にとっては一番うれしかった。さらに、届いた商品の箱の中には思いのこもった手紙や、シール、ちょっとした品物などたくさんの幸せが入っていました。その工夫も素晴らしかった。クラスで企業訪問をし、人とつながり、思いを聞き、商品知識を得、実際に体験をしてみる、そして、買ってくれた人に思いを伝える。ネット販売の難しさも学ぶことができた。このことは何物にも代え難く、津商モールをネットで実施したから得られた経験となり、これからみなさんの人生と周りの人の人生を鮮やかに彩ってくれる

ことでしょう。やはり、津商モールの取組も素晴らしい学びだったと思います。みなさんが成長してくれると私はうれしいのです。

これらの苦しい決断をしたときに、分かったことや大切なことは、今までやってきたことを否定してはいけないということです。無駄なことはないということです。どう決断したとしても、今までの一つ一つの積み重ねが未来をつくっていくということです。津山商業の百年の歴史も同じです。

これからの難しい決断も、決めたことをやり抜くしかないのです。もし、うまくいかなかったら修正すればよいのです。

同時に、これらの行事が何のためにあるのか、また、商業の本質は何なのか、その目的は何なのか少し見えてきたと思います。私なりに考えました。難しいかも知れませんが聞いてください。

- ①世代を超えた人と接することで、豊かな人間性を育み、商業にとって大切な「全ての隔たりを埋め、人をつなぎ、幸せにする仕組みを学ぶ」ため。
- ②地域を主体的に「知って」「伝えて」「つなげる」活動を続けることによって、みなさんの夢を育み、持続可能な社会の実現につなげるため。
- ③歴史と伝統に感謝しながら、グローバルな視点を持って「商業」を学び、自分だけではなく、より多くの人を幸せにする「商業の力」で社会や地域を豊かにする未来を築くため。

上記の目的を達成するために「簿記」や「情報処理」「マーケティング」など、手段としての商業の学びを大切にしなければならないということです。それらの学びの中では、多様な人たちとの合意形成と協働が重要で、それが、自分らしい「在り方生き方」の実現や自分の人生のデザインにつながり、同時に社会貢献にもつながっているということがわかりました。

☆生徒さんにお礼を伝えたくて、電話しました。嬉しくて、本当にありがとうございました。今、去年のマフラーをして、手袋もはめています。説明が入っていたので、作っていただいたことがよくわかりました。津山商業が北園高校だったころを懐かしく思い出しました。生徒さんによりしくお伝えください。

☆北園町に住んでいます。昨日は誠にありがとうございました。毎日、コロナで大変な中、勉強スポーツ等々に励みながら心温まる手作りの品を作成してくださり、本当にありがとうございました。今年一番早い、クリスマスプレゼントを頂きました。一人暮らしの私は、うれしくて涙が止まりませんでした。大事に大事にみなさんの温かい心を思い浮かべながら使用させていただきます。皆さんの若い力でコロナを吹っ飛ばして、来年こそは皆さんにとって良い年でありますよう心から祈っています。一言お礼が言いたくてペンをとらせていただきました。本当に本当にありがとうございました。

12月16日に行われた「孫心届け隊」プロジェクトへのお礼の言葉や手紙です。私たちは多くの方々に応援してもらっています。その恩返しのためにも勉強や部活動を頑張る必要があるのです。

コミュニケーションは、自分と自分以外の人を認識するところから始まります。商業の本質的な学びも同じです。君たち商業高校生は、周囲を気づかい、優しさを育む学びをたくさんしてきたのではないのでしょうか。「孫心届け隊」の取組もその一つです。そして、これらの取組を成し遂げるには当然チャレンジ精神も大切です。階段を一步上るには勇気も必要なのです。検定取得や部活動でそれらを学んでいるはずで、自信と誇りを持ってください。

私たちの学び、商業の学びがこれからもつながっていき、明るい未来をつくると信じています。来年が良い年となりますように。